

登壇者

阿座上 陽平

Zebbras and Company 共同創業者/代表取締役
株式会社ユートピアアグリカルチャー プロデューサー
特定非営利活動法人ブラックスターレーベル 理事

早稲田大学商学部卒。メディア企業、デジタルエージェンシー、スタートアップなど事業の立ち上げや成長に貢献。社会課題の解決と自立的経営の両立を目指す「ゼブラ」の考えに共鳴し、田淵・陶山と共に2021年にZebbras and Companyを創業。マーケティング、ブランディング、ストーリーテリングを用いてゼブラ企業の共感者を増やし事業成長に伴走している。また、同2021年から、スタートアップ企業所属時より事業を共に作ってきた長沼真太郎の再チャレンジに際しユートピアアグリカルチャーなどの事業プロデュースを行う。2023年、解決困難な社会課題を映画の力で対話を促す映画レーベルBLACK STAR LABELを立ち上げる。Zebbras and Companyでは2024年12月「ファイナンスをめぐる冒険」を監訳。

小池 克典

一般社団法人インパクトスタートアップ協会 事務局長

大学卒業後、就職活動をせずパーテナーとしてキャリアをスタート、その後雇職に変遷しメガベンチャーで14年勤務。いち法人営業からスタートし、営業部門長や営業部門の設立。SLUSH ASIAの立上げをきっかけにスタートアップ領域に。イントレプレナーとして新規事業立上げ、子会社の創業、出資担当を経験。2023年に心臓の大病が発覚し手術・療養・復活を機に独立。現在はPopUp Agency「Squad」を創業し複数のスタートアップPJを支援。主な立場としてインパクトスタートアップ協会の事務局長としてエコシステムの構築に従事。

佐々木 喜徳

一般社団法人スタートアップスタジオ協会 共同代表理事

株式会社ガイアックス 執行役

組み込み系ベンチャーやC向けインターネット関連業務の経験を活かし、フリーランスエンジニアとして独立。その後、フィールドエンジニアリング会社の役員を経て2007年にガイアックスに参画。スタートアップスタジオ責任者として起業家への事業開発支援や投資判断を担当。スタートアップスタジオ協会を立ち上げ、スタートアップ挑戦者の裾野を広げる社会活動に取り組んでいる。

藤本 あゆみ

一般社団法人スタートアップエコシステム協会 代表理事

A.T. カーニー株式会社 アソシエイトスベシャリストアドバイザー

大学卒業後、キャリアデザインセンター、グーグルにて法人営業に従事。2016年にat Will Workを設立。その後、お金のデザインでPR・マーケティングにキャリアチェンジし、Plug and Play JapanでCMOとしてマーケティングとPRを統括。2022年にスタートアップエコシステム協会を設立し、代表理事に就任。2024年11月よりA.T. カーニーのアソシエイトスベシャリストアドバイザーを務める。現在は、東京都スタートアップ戦略フェロー、文部科学省アントレプレナーシップ推進大使、内閣府規制改革推進会議スタートアップ・DX・GXワーキンググループ専門委員などを務める。

宇井 吉美

株式会社aba 代表取締役CEO

中学時代、祖母がうつ病となった経験から、「介護の負担を減らしたい」とロボット開発者の道を志し、千葉工業大学在学中にabaを設立。実習先の介護施設で「おむつを開けずに中が見たい」という願いに出会い、便や尿のにおいを検知する排泄センサー「ヘルプパッド（Helppad）」を開発・製品化。おむつ交換タイミングの最適化や排泄情報の蓄積/解析/活用によって介護する人・される人双方の負担軽減を目指している。

大久保 亮

株式会社Rehab for JAPAN代表取締役社長 CEO

リハビリ養成校を卒業後、通所介護事業所や訪問看護ステーションにて在宅リハビリテーションに従事。働きながら法政大学大学院政策学修士を取得。要介護者、介護現場で働く人、地域住民まで、介護に関わるすべての人が安心していきいきと活躍し続けられる世界の実現を目指して2016年6月当社を創業。作業療法士。一般社団法人 日本デイスサービス協会 理事。

水野 友喜

イチロウ株式会社 代表取締役

専門学校で介護福祉士の資格を取得後、老人ホームなどで現場の介護職員や施設長としてマネジメントを経験。

さらなる知識の必要性を感じ、仕事と並行して日本福祉大学に入学。

社会福祉士の資格を取得。2017年株式会社LINK（現イチロウ株式会社）を設立。2019年オーダーメイド介護サービス「イチロウ」をスタート。公的介護保険では支援が受けられない在宅介護ニーズに対して、オーダーメイドで介護保険外の介護サービスを提供。

河合 将樹

株式会社UNERI 代表取締役CEO

一般社団法人IMPACT SHIFT代表理事

イギリス留学、ETIC.で学生起業家向けプログラムの運営を経て、2020年に株式会社UNERIを創業。社会起業家育成や約460件の共創事例、約4億円の資金調達支援などを通して、東海地域スタートアップエコシステムの基盤をつくる。

2022年にSIIFのインパクト投資ファンドで投資業務に従事。2024年には業界最大規模イベント「IMPACT SHIFT」を開催した後、一般社団法人IMPACT SHIFTの代表理事に就任。金融庁主催「インパクトコンソーシアム」の地域・実践分科会ディスカッションメンバー。Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2024選出。